



森のなかま

2017年10月号
NO. 114 (継続259号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302



かなりんちゃん

(写真撮影:内野氏⑨、赤崎氏⑫)

『やどりき水源林のつどい』が盛大に開催！！
8月5日(土) (8/4 準備)



ウォービーくん

しずくちゃん

やどりき水源林のつどい 開催報告 < 統括インストラクター(副理事長) 森本正信 5期 >

日時 8月5日(土) 8:30~3:30 場所 やどりき水源林 参加 381名

(インストラクター 8/4 準備 28名、当日 62名(計 90名)、県・財団のスタッフ・出展者等で 70名)

昨年の8/11 山の日開催から、水の週間(8/1~7)の第一土曜日に繰り上がった今年のつどい。

正直、イベントの多い時期と競合した向きはあったが、参加者の満足度は高かったようだ。

出店ブースの入れ替えもあったが、新たな「華」や「賑やかし」も出てきて、イベント感も高揚。

もり・みずカフェと神奈川県内広域水道企業団様が新規出店、みどりの広報大使や、新ゆるキャラ「ウォービーくん」も招聘出来た。

来年は、企画面での新規メニューを開拓し、おもてなしファーストでアテンドすることで、かながわ水源の森林づくり運動と森林再生パートナー、新定着ボランティア団体の活動を、外部へ発信・訴求させていきたい。

主催 県民との協働による森林づくり実行委員会

(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川県、神奈川県森林組合連合会、
神奈川県木材業協同組合連合会、神奈川県山林種苗協同組合、神奈川県森林協会、連合神奈川、
株式会社湘南リビング新聞社、株式会社神奈川新聞社、
南足柄緑の少年団、箱根みどりの少年団、NPO かながわ森林インストラクターの会

共催 松田町

協賛 神奈川県内広域水道企業団



提供された
やまなみ五湖ブレンド水缶

前日の準備

準備前のミーティング



20、21年度成長の森コース
草刈り



長椅子の組み立て



新松田駅 ⇒バス ⇒ 会場へ (第一陣 9:30~10:00 ……)

寄大橋前にバス到着



管理棟前の地図を前に
会場の場所を聞いて



会場広場に到着
各コースのご案内



みどりの広報大使
宮西さんと
ウォービーくん
(初登場) も到着



トレッキング等のコース (10:00 …… ~12:00)

I 水源林トレッキング (・成長の森コース・周遊道Bコース・林道コース) II 水生生物観察 III 森林癒やし

トレッキングコース分け



森は水のふるさとの説明して、成長の森へ



Bコースへ向かう



林道コースへ



水生生物観察



オタマジャクシが魚のカジカもいたよ！



森林癒やし



開催あいさつ 昼食 森のコンサート (12:00~13:00)



左から
協賛 神奈川県内広域水道企業団
吉川企業長
・来賓 県議会杉本議員
・共催 松田町本山町長
・実行委員長 トラストみどり財団
西ヶ谷専務理事

司会進行係の星野さんサウンドミキサーの渡部さん
特別司会の(準ミス)みどりの広報大使 宮西さん



かながわ代表のゆるキャラ登場 (左から)
しずくちゃん、ウォービーくん かなりんちゃん



昼食



草笛名人
師井さん、松永さん



寄祭囃子
(三ヶ村祭囃子保存会)



トン汁サービス



パートナー
定着ボランティア
活動紹介パネル



ウッドカー



森林交流会等 (~14:00)

丹沢大山
自然再生委員会



森林癒やし
香りあてクイズと木材チップ



丸太切り (疑似間伐体験)



切った木を台座にどんぐりクラフト



森林インストラクターが
製作した“グッズ”の販売



スイカ割 お見事
その後皆さんのお口に



葉巻草笛



もり・みずカフェ



神奈川県広域水道企業団



来年もね！



“2017夏休み子どもフェスタ”

8月20日(日)9:00～16:00 参加者66名

<森林文化部会 菊地 昭子 11期>

(参加インストラクター：井出①、落合③、内野⑨、真貝⑩、赤崎⑫、菊地①)

今年も茅ヶ崎市勤労会館で“2017 夏子どもフェスタ”が8月20日に開催されました。森林文化部会では、茅ヶ崎市勤労会館で運営委員会を開催している関係で、一般市民への啓発活動として協力しています。会館では、7回目、出店してから5回目です。



今回は、鶯笛、書けないエンピツ、ブンブンこまの3点です。例年、鶯笛が人気で待つ時間が多いため、20人限定の整理券を発行することにしました。また入口に近い場所だったため、番号をとってから他で時間作ることができたため、スムーズに人が流れ落ち着いて工作活動をすることができました。小刀を使って木や竹を削ったり、小さい穴に小さい手で紐を通したり、絵を描いたりして、自分の作品を仕上げていきます。使ったことのない小刀も最初は危なっかしいですが、作品が出来上がるころには、上手に使えています。

他には、魚釣り、ヨーヨー釣り、ストラックボール、クルクルコロロ(針金で作るおもちゃ)、書道教室、パンや野菜の販売、ロボットのペッパー君、などがあり楽しめたと思いました。

来館する人が途切れる事もなく、また集中することもなかったため、インストラクターの会の活動をPRすることができ良かったと思いました。

<会場と活動ブースの様子>

撮影 真貝⑩



撮影 菊地①



撮影 真貝⑩

<PR用のパンフレットと説明図>



かながわ森林インストラクターの会は
緑の募金の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第20回 多様な生理活性を持つ
ポリフェノール、そしてタンニン
香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

最近ポリフェノールという言葉をよく耳にします。ポリフェノールにはからだに有害な活性酸素を取り除く働きがあります。酸素は私たちが生きていく上でなくてはならぬものですが、過激な条件のもとでエネルギーを獲得してラジカルといったより活発に活動する形になることがあります。それが活性酸素の一つですが、活性酸素はからだの組織に反応し、組織を分解し老化の原因となったり、時にはガンのもとにもなります。

そのような有害な活性酸素を取り除く働きを抗酸化作用と言いますが、ポリフェノール類の多くは抗酸化作用を持っています。そしてポリフェノールはトマト、赤シソなどの有色野菜やレッドワインなどに多く含まれています。ブルーベリー、イチゴ、スモモなどにも多く含まれています。



赤シソ

ポリフェノールはフェノール性の水酸基を分子内に複数個持つ化合物の総称です。ポリフェノールは植物の光合成に

よって作りだされ、草木の色のもとになるフラボン類、アントシアニン、害虫の忌避物質として植物の身を守るタンニンなどがあります。また、植物が強い陽射しに曝される時などに酸化を防ぐのにポリフェノールが抗酸化作用を発揮して自分の身を守るのにも役立ちます。お茶の成分として知られているカテキン、桜餅の桜の葉から漂う香ばしい香りのクマリン、コーヒーの香りのカフェイン、蕎麦や桑の実に含まれていて抗炎症作用があるルチン、ゴマに含まれコレステロールに低減効果などで注目されているセサミンもポリフェノールの一つです。こうして見るとポリフェノール類は私たちの身の回りに意外に多く存在し、食生活でのかかわりが多いことがわかります。

数多く存在するポリフェノール類ですが、その分子構造の形からいくつか分類されます。その中でも私たちの生活にもっとも身近な存在で、古くからよく利用されているものがタンニンというグループに属するものです。

タンニンは植物起源の水溶性ポリフェノールを指します。タンニン(tannin)のtanには、生皮を鞣(なめ)すという意味があります。狩猟で得た動物の皮はそのままでは堅くて使えませんので柔らかにする必要があります。また、tanはライン川周辺のケルト語のカシの木も意味しています。カシの樹皮から採取したタンニンで皮なめしをしていたのがタンニンの語源です。

同じ植物起源のポリフェノールを日本では柿渋に見られるように「渋(しぶ)」と呼び、西洋では「タンニン」と呼んでいました。獣を対象にしていた狩猟民族と果実等の採取を生活の糧としていた農耕民族の違いの表れでしょうか。

タンニンは今では化学的に「温水によって抽出されるフェノール性化合物、塩化第二鉄溶液で青色に変色し、アルカロイドやたんぱく質と結合する物質」と定義されています。塩化第二鉄溶液はフェノール類を検出する方法の一つです。

樹皮に多く含まれ、古くから皮なめしなどに使われてきたタンニンですが、草木染、接着剤製造原料、水処理用製品、防さび剤などにも使われてきました。また、薬理活性を有しますので整腸剤などの生薬としても利用されています。

渋柿 (シブガキ)



(イラスト 広報部 大塚 ⑩)

活動短信

今回の掲載は平成29年7/23～8/19です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



桐始結花 7/23～7/27 頃
きりはじめてはなをむすぶ
桐の実がなり始める
第三十四候 大暑 初候

蒙霧升降 8/18～8/22 頃
もうむしうごう
深い霧が立ちこめる
第三十九候 立秋 末候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研:研修枠

以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

**活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。*

◆ 荏原製作所 水と空気と環境の森／森林活動

日 7月23日(日)10:00～15:15、曇り時々小雨

場 南足柄市内山 県立21世紀の森

参 25名(大人17名、子供8名)

県 中田様

スタッフ 21世紀の森職員 2名 看 1名

イ L西出⑫、小野⑦、湯浅⑪、上宮田⑪、松石⑬

今年は、例年に比べて参加者が少なかったのですが、
それだけ皆さんに一体感ができて、活動もきめ細かく対応
できたと思います。天候を気にしながらの活動でしたが、
皆さん楽しい1日を過ごされたと思います。

10時に到着後、開会式が行われ、インストラクターの紹
介、準備体操を行って、午前中、「下刈り班」(7名)と「木工
工作班」(14名)に分かれて、活動を行いました。下刈り班
は熱中症に気を付けながら、「成長の森」の予定された区

域の草刈りを完了しました。木工工作班は「運動広場」でヒ
ノキの間伐材でコースターを作り、次に、ロケットラワンを
作って空に打ち上げました。子供たちは、空高く飛び出す
ロケットラワンに夢中でした。

午後は、1時間ほど掛けて、全員でヒノキの間伐材を利
用した箸作りを行って、出来上がった箸に電気ペンで名
前や日付を書いて仕上げました。その後、2班に分かれて、
自然観察を行いました。カツラの落ち葉の匂いを嗅いだり、
草笛に挑戦したりして、45分間の森の散策を楽しみました。
皆さん、思いのこもったマイ箸と楽しい思い出をお土産に
帰路につかれました。

(記 西出 健一 ⑫)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈

日 7月26日(水)8:00～12:00、曇り時々雨

場 小田原市荻窪(緑の祭典植栽地)

参 30名

財 豊丸課長、鳥海様 看 小林様

スタッフ 小田原市:加藤様 森林組合:1名

イ L高橋⑨、柏倉④、山崎⑦、有坂⑧、野牛⑧、

松永⑪、古館⑬、黒川⑭、小松⑭、立花⑭、水野⑭

今回は前日より天気予報も降水確率が高く開催が危ぶま
れた。当日は集合時間頃から急に大粒の雨が降り出した
ため、とりあえず受付を行い現地で様子を見て判断するこ
ととなった。

当初から応募参加人員が少なく(48名)5班体制を3班体
制に変更して準備していたが、当日の参加人員はさらに
減り30名となった。現地ではしばらく様子を見たが、程なく小
降りになり出来る範囲で実施することにした。

現地は下草が成長しており、通路も含め見通しが悪い
状況であった為、足元注意、近接作業の注意を重点項目
とし、蒸し暑い環境であるため早めの休憩と水分補給にも
気を付けるよう関係者の意識統一をした。

作業環境は悪く、参加人員も少なくなった為、当初の目
標エリアの完了を危ぶんでいたが、参加者の意欲は旺盛
でハイペースで作業は進んで行き、当初の作業予定時間
の約1時間前にはほぼ完了となり、雨も降りだしてきたため
引き上げることにした。

バスのなかで着替え、食事、意見交換をしてもらった
が、雨中での作業にもかかわらず初参加の方々にも満足
感や次回参加の意向のあったとの報告もあり、無事故で無

事終了したことに加え安堵したところです。

なお、終わりの会では①鋸を仕舞うのに向きが逆でちゃんとセットできず鞘から落としていた人がいた。②天候不順の為作業に必要な物(飲料水、手袋等)以外はバスに残すことを可としたが、飲み物もバスにおいてくる人がいた。等の意見があり、更なるチェックや伝達を徹底することを確認した。

(記 高橋 修 ⑨)

◆ 小田原森林組合 小田原きまつり 森で遊ぼう

「森林探検とひみつ基地づくり」

日 7月29日(土)9:00～16:00、曇り

場 小田原市久野 いこいの森

参 66名(大人27名 子供39名)

スタッフ 小田原森林組合 村山技師

支援者 大学生5名

イ L柏倉④、白畑⑦、大塚⑩

「木がそこにあるから人が寄り添う」というテーマのもとに企画された10種の取り組みの一つ「森林探検とひみつ基地づくり」を午前午後1回ずつ実施する。各回2時間予定で前半は森林探検、後半にひみつ基地づくりを行う。

森林探検は「森のビンゴカード」をもとに、様々な音、食べられる植物、危険な植物、色鮮やかな植物の実、謎の横穴探しなどに「五感を使って様々な発見をすること」に夢中になる。

ひみつ基地づくりは間伐材や枝葉などを拾い集めて、子供と大人が一緒になって汗を流す。完成した小屋に入った子供達の顔は得意顔。

いこいの森での充実した思いを親子で共有し、別れの挨拶では笑顔いっぱいであった。

(記 柏倉 絃 ④)

◆ 株式会社 鈴廣蒲鉾本店 間伐体験

日 7月29日(土)10:00～13:00、曇り

場 松田町 やどりき水源林 恵水の森

参 株式会社 鈴廣蒲鉾本店 藤瀬 様 他
14名(大人14名)

県 大西様

イ L牧石⑭、山崎⑦

台風の影響も無く、曇り空のなかで間伐活動を実施。集合場所へ移動の途中、集会棟横に設置されている、

神奈川県の水源地についての案内板を利用し、参加された皆様に、やどり沢の水の流れについて、飯泉取水堰より、川崎・横浜方面に送られていると説明すると驚かれています。



集合場所へ到着後、インストラクター紹介、準備体操、恵水の森への移動後、恵水の森の看板をバックに参加者全員の集合写真撮影を行いました。

その後、2班に分かれ間伐場所へ移動。間伐を行う木が太いため、慎重に伐倒方向の確認、間伐手順の説明実施後、ロープ掛け作業を行い、交代で受け口作りを実施しました。追い口作業を行う前に、再度作業手順の確認を行った後、受け口作業に入りました。受け口作業完了後、合図と共に、一斉にロープを引くと、予定していた場所に向かってゆっくりと倒れ、参加者より歓声が上がりました。その後、玉切りを実施。今回、木が太いため、運びやすい様に玉切りを多くし予定通り間伐作業終了。

最後の挨拶では、参加された皆様より「ありがとうございました」のお礼の言葉をいただき無事終了致しました。

(記 牧石 稔 ⑭)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動

水棲生物の観察とクラフトワーク

日 7月29日(土)10:00～14:00、曇り時々小雨

場 やどりき水源林

参 10名(大人 4名、子供 6名)

イ L小沢⑨、渡辺③

チョット心配な空模様の中、小さな子供を含め3家族のグループがやどりきの広場に集合。

午前中は広場のそばの清流で水棲生物の観察、担当の笠原さんのリードでオリエンテーション。インストラクターから水辺の活動の諸注意をお願いして河原に入り、全員が網を持って観察開始。まず目に入ったのがカジカガエルのオタマジャクシ、水の流れと友達になるにつれて沢山のお友達とご挨拶。カゲロウ、カワゲラ等お魚のカジカとも

会えたよ！どこで切っても再生してしまう不思議なプラナリアのかわいい目玉とも、顕微鏡で観察。昼食を取り持参して頂いたスイカでスイカ割りを楽しむ。

午後は竹細工のクラフトワーク、用意したマダケを使いカタツムリの工作。竹鋸、ヤスリ、ペーパー、ボンド等を使い子供達は一生懸命、完成したカタツムリのお土産と本日の楽しい思い出を共に袋に入れ、皆さん無事に終了。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 自治労水週間

(森の下に何が見えますか Part 21)

- 日 8月4日(金)10:00～12:00、曇り
 場 南足柄市内山 県立21世紀の森 マダケノ展示林
 参 41名(男38名、女3名)
 財 古舘様 看 小林様
 イ L村井⑨、齋藤⑧、小沢⑨、武井⑬、立花⑭

自治労様は長年ヤビツの森で下草刈り作業をしていますが、本年より南足柄市県立21世紀の森へ移りマダケの展示林への作業となりました。

自治労様が到着前に段取りとして、真竹の集積場作り及び道具の準備等をぬかりなく体制を整えお待ちした。

担当の中島様のリードでオリエンテーション開始、準備体操後道具を装着して頂きいざマダケ林へ出発。

5班に分かれ(1班、8～9名)、足の踏みいれる場所も無い位に本年度成長したマダケの展示林へ挑みました。

従来の下草刈作業と異なり、竹の伐採にチョット戸惑った様子が有りましたが、各班とも積極的に協同作業を展開し、見る間に通路確保、奥が見えるようになりました。

曇り気味の天候に恵まれ！皆様全員無事に作業を終え、道具の整備、本日の感想等をお聞きし、また来年の再会を約し散会した。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 藤沢市 明治地区 青春の旅 森林ボランティア

- 日 8月9日(水)9:30～14:00、晴れ
 場 南足柄市内山 県立21世紀の森
 参 30名(大人16名、中学生14名)
 イ L村井⑨、小沢⑨

9:30青春の旅のバスが予定より早く到着、天気は快晴、予報では37℃位になるとの事を踏まえ、作業予定を前倒しでスタート。県立21世紀の森の研修室に於いて、担当

の宇久田様の進行で本日のオリエンテーション開始。

午後の竹細工に必要と思われるマダケの材料確保と竹林整備(どちらかと言えば材料確保が6割、竹林整備が4割くらいの配分で作業開始となった)。

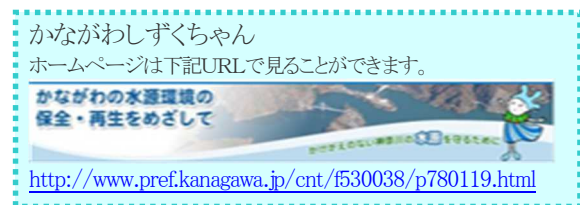
従来は竹林整備と竹細工のパターンであったが、今回はこちらから提案させて頂いた竹細工のカタツムリ作成となる。

メンバーの中に羽鳥中学校野球部員が14名参加されていて、活気あふれるマダケの展示林となった。

昼食後、各自が思い思いのイメージでカタツムリを作成。いまにも動き出しそうな物、重量感あふれる物等ナタ、ノコ、ヤスリ、ボンド等をフル活動させて全員が世界に一つのカタツムリ完成。

最後に研修室に於いて、21世紀の森、辰巳副所長、宇久田実行委員長様のお話で閉会式となりました。

(記 小沢 章男 ⑨)



◆ 県民参加の森林づくり 下刈

- 日 8月11日(金)8:30～14:00、雨
 場 箱根町仙石原(イタリ水源林)
 参 37名
 財 豊丸課長、鳥海様 看 小林様

用具準備…小田原市森林組合様

スタッフ 箱根水源パートナーズ様

- イ L國分③、小清水⑤、齋藤⑧、小沢⑨、園田⑨、辻村⑨、村井⑨、立花⑭、國弘⑭

前日から降り続いた雨が一日中残るあいにくの天気となりましたが、申込み52名中37名の方が参加して下さいました。

8:40小田原駅西口を出発、途中箱根湿生花園でトイレ休憩後、10:00前現地に到着しました。

今年5月に植栽したヒメシャラ・イロハモミジ・ヤマボウシ・ヤマザクラを誤伐しないよう、4班に分かれ、丁寧に作業していきました。苗木に支柱が残っていたので誤伐は防げましたが、下草が小さかったため大鎌での作業は難しかった。

たようです。

0.1haと面積が狭かったこともあり1時間弱で作業は無事終了しました。作業後、希望者は水道施設を見学させていただき11:45にホテルへ移動。

スタッフの方々の配慮で昼食・班毎のミーティングもホテル内で行うことができました。ゆったり温泉に入り、参加者も『終わりよければすべてよし』といった感じでした。

「自分が植えた木を見たくて参加しました」「今回の場所は苗木を植えたのもボランティアだと知り、素晴らしいことだと思いました。」という感想がミーティングで出ました。

植えるのもその後の手入れもボランティア。このような森は森林啓発にも結びつく、と感じた一日でした。

(記 小清水 晴美 ⑤)

◆ 神奈川県水道記念館

水源の森林散策と水生生物観察会

日 8月17日(木)10:00~14:30、曇り時々雨

場 松田町 やどりき水源林

参 神奈川県営水道給水区域内の

一般県民:31名(大人11名、子供20名)

スタッフ 神奈川県水道記念館 北村副主幹様 他計5名

看 小林様

イ L 藺田⑬、高橋③、小川⑬、大原⑬



関東は、記録的な連日の長雨で雨天を覚悟していたが、幸い、曇り時々弱雨の天気で、野外活動に支障はなかった。現地には9時過ぎに到着し、散策路、寄沢の安全確認、水生生物観察の準備等を済ませ、参加者の到着を待った。参加者を4班に分け、インストラクターが担当した。

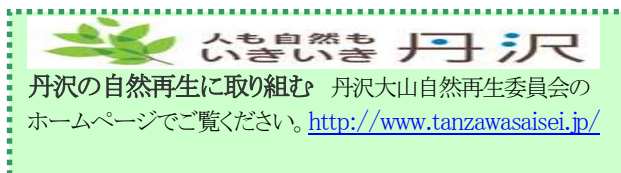
午前中、林道を散策し、自然観察、水源林の役割・保全意義等を話しながら、水源林に関心を深めて頂いた。

林間広場、寄沢で、自然を満喫しながら、家族ごとに昼食を楽しんでもらった後、午後の水生生物観察は、広場前の寄沢が増水していたので、安全第一で、後沢での水生生物採取としたが、ご家族で十分楽しんで頂けたのではないかと思います。

広場に戻り、同定を行い、御三家といわれる、カゲロウ、カワゲラ、トビゲラ、に、ガガンボ、ヘビトンボ、カジカなどが観察出来た。雨が降ったりやんだり、ヤマビルが多

く、小林看護師の世話になる参加者が多く出た他は、怪我、事故もなく、恒例の「水源の森林観察会」を予定通りに終えることが出来た。

(記 大原 正志 ⑬)



◆ 県民参加の森林づくり 除伐

日 8月19日(土)8:00~15:00、晴れ

場 箱根町元箱根(県有林)

参 66名

財 豊丸課長 初山様 看 小林様

スタッフ 小田原森林組合 1名

イ L小笠原⑩、佐藤①、山崎⑦、大澤⑩、後藤⑩、山下⑪、吉田⑪、石川⑫、西出⑫、渡辺(敏)⑫、江上⑬、北村⑬、岩田⑭、小貝⑭、小林⑭、鈴木⑭

研 山口⑪、黒川⑭

安全パトロール 佐藤⑤ 辻村⑨

連日夏の長雨記録が更新されて当日もどうなるか心配であった。集合場所の小田原はうすくもり。天気が気にかかりながら仙石原へ向かう。

幸い渋滞にも巻き込まれず予定時刻に到着。夏の日差しの下、除伐作業を行なうことになった。昨年作業を行なったところである。モミジ、リョウブ。ハコネメザクラを残して径の小さいその他の木々やツルを切り落とした。

今回は枝打ち鋸、竹挽き鋸、剪定鋸の3点が貸与されたが使い分けに苦労する人も見受けられたが、あっという間に見通しがよくなった。

作業後はホテルのご厚意で入浴をさせて頂きさっぱりとして帰路のバスに乗り込んだ。

今回は鋸がよく手入れされておりとても使いやすかったと参加者の声が多かった。現場までの乗車時間が長い場合の時間活用をもっと考慮してはいけなかった。

(記 小笠原 多加子 ⑩)

森林探訪「表丹沢県民の森」

～表丹沢の山懐を歩こう～

10月22日(日)

丹沢大山自然再生委員会と共催
森林インストラクターがご案内

集 合：小田急線・新松田駅/JR 御殿場・松田駅南口 改札前 8時40分

コース：新松田駅→(バス実費)→寄バス停 → 三廻部林道出合 →

表丹沢県民の森 → 西山林道 → 大倉バス停

(解散予定15時30分) 歩行距離約8km

募 集：80名 10月15日(日)締め切り

参加費：1,000円

持 ち 物：昼食、飲み物、雨具など必要と思われるもの

服 装：ハイキングが出来る程度(長袖、長ズボン、帽子)

防水性のある履き慣れた靴

申し込み：往復はがきに、森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、

〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4

かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会 内野ミドリまで



丹沢大山自然再生活動報告会 (当会の足立さん4期、久保さん8期が登壇します)

●日時：平成29年10月15日(日) 12:00～17:00

●会場：日本大学 生物資源科学部2号館211号室 ●定員300名 ●参加費：無料

(報告会終了後に実施する懇親会については、別途参加費(3,000円)を頂戴いたします。)

●主催：丹沢大山自然再生委員会 ●共催：神奈川県自然環境保全センター

●プログラム

○12:00～13:00 会員の活動バスターの展示

○開会あいさつ(丹沢大山自然再生委員会 委員長 羽山伸一)

○13:10～14:00 基調講演 (長崎県対馬市役所職員 前田剛)

「対馬学舎・フィールド・キャンプ(ツツミマ村・対馬文化の保全、全国大学生との域学連携の先進事例)」

○事例報告

①14:15～14:40「博物館での人づくり 丹沢山麓の自然の記録・情報発信を介して」(相模原市立博物館 学芸員 秋山幸也)

②14:40～15:05「丹沢大山での森林フィールド調査からみる大学生の気付き」(東京農工大学農学部地域生態システム学科 准教授 白木克繁)

③15:05～15:30「学生による地域の子供たちへの森林環境教育」(日本大学生物資源科学部 森林資源科学科 専任講師 杉浦克明)

④15:30～15:55「『かながわ環境教室』の取り組みと普及啓発」(NPO法人かながわ森林インストラクターの会 足立功)

○16:10～16:50 パネルディスカッション(進行役 調査専門部会 部会長 糸長浩司)

○まとめ(事業計画・評価専門部会 部会長 勝山輝男)

○閉会あいさつ(丹沢大山自然再生委員会 副委員長 久保重明)

《懇親会のご案内》

報告会の終了後、講演者を交えた懇親会を開催します。

報告会に語参加いただいた方であれば、どなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

時間 17:30～19:30(予定) 会場 学生食堂3階 参加費 お一人あたり3,000円

※懇親会への参加をご希望される方は、報告会へのお申込の際、あわせて懇親会の参加人数、参加者氏名をお知らせください。

【申込み】

行事名「平成29年度丹沢大山自然再生活動報告会」・所属・氏名・電話番号を明記して、お問合わせフォームよりお申込みください。

<https://tanzawasaisei.sakura.ne.jp/mailform/mailform.html>

(電話：046-248-0323 または FAX：046-248-0737 からもお申込みいただけます。)

【問合せ】

丹沢大山自然再生委員会事務局(神奈川県自然環境保全センター自然再生企画課内) TEL：046-248-0323(内線298)

特別企画「やどりきの森へ行こう!!」

要・申込

2017年 **10/21**土家族で森のお手入れ
体験参加者募集

【定員】10家族(先着順)

【申込締切】10月7日(土)

【集合】小田急線 新松田駅北口に午前8時40分

※新松田駅～やどりき水源林ゲート間は路線バス延長利用
(片道:620円各自負担)「成長の森」でお子様
と一緒に間伐体験★
間伐材でお土産づく
りもできます。【内容については】財団ウェブサイトへ <http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadorikih27.html>

【申込】NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604 ☑ k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

●希望するイベント日時、参加者全員の氏名、住所、電話番号を明記して往復はがきまたはEメールにてお申し込みください。

森林探訪

【共催】かながわトラストみどり財団

【森林探訪申込先】往復ハガキにイベント名・参加者全員の氏名・住所・
電話番号・年齢を記入し、〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4 内野
ミドリまで(☎042-758-5058)

かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

12月2日(土)

8時40分～

15時30分

会員 500円

一般 1,000円

初冬の大磯・
鷹取山と霧降の滝【講師】NPO法人
かながわ
森林インストラク
ターの会【集合】JR東海道線
平塚駅 東口改札前
(中央改札)【コース】平塚駅⇒☉⇒生沢～鷹取山～ゆるぎの
丘～霧降の滝～松岩寺⇒☉⇒平塚駅 雨天決行◆タブノキやスタジイなどの巨木が広がる鷹取神
社や湘南平、霧降の滝を巡ります。

80人(先着順)

受付:10/1～
11/25

やどりき水源林ミニガイド

9月のトピックス

ヤマホトギスの3体



(9/10 Bコースにて撮影)

10月の水源林

小さい秋を見つけにおいでください。歩くには最高の季節が到来です。蝶もトンボもまだいます。

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

- 実施時間：毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集合：水源林入口ゲート前
- 内容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

- 問合せ：(公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL：045-412-2255
FAX：045-412-2300

- ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadrikil27.html> E-mail：midori@ktm.or.jp

- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

地球を「はぎ取る」

～地層が伝える大地の記憶～

7月15日(土)～11月5日(日)

物言わぬ地層。地球の歴史をひそかに伝える。



〒250-0031
小田原市入生田 499
Tel: 0465-21-1515
Fax: 0465-23-8846
ホームページ

<http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★30代最後の一年が始まりました。やりたかった事、諦めた事、逃げてしまった事、一つ一つと向かい合いたいです。後悔しないように。

(赤崎)

★鎌倉の里山保全活動の田んぼは、稲刈りの季節です。黄金色の穂にたわむ稲を見ると幸せな気分になります。今年は、空梅雨、8月の長雨、迷走台風とおかしな天候でしたが、平年並みの作柄でほっとしています。

(黒川)

★秋分の日も過ぎ、夜が長くなってきました。暑い夏からもうすぐ紅葉の季節。自然の恵みを満喫したい。

(吉田)

★秋分の日に長野に墓参りにいきました。秋の始まりナナカマドの実、サンショウの実、サルナシの実、ミツバアケビの実、アオツツラフジ等が家の周りにありました。中でもイチイの実が綺麗で幼少にかえり沢山食べました。おいしかったです。(その時のイチイの実です)



(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 大塚晴子 赤崎さほり
小川和恵 黒川敏史 吉田郁夫
支援 伊藤恭浩 大原正志 江頭淑子

秋のハーブフェスティバル

10月10日(土曜日)～10月25日(日曜日)

松田山ハーブガーデン園内

<http://www.seibu-la.co.jp/matsudayama-hg/>

(松田山ハーブガーデンHP)

0465-85-1177(ハーブガーデン)、

0465-82-0367(テレフォンサービス交通案内)

松田山ハーブガーデンでは年に2回(春と秋)ハーブフェスティバルを開催しています。秋(10月)開催のハーブフェスティバルは「セージまつり」とも呼ばれ、肉料理やお茶などに使われるセージが見頃を迎えます。ハーブ館内のレストランでは季節に合わせたハーブ料理も楽しめます。

